

# OSM ラインカード ヘッダ 破損脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20021211-osm-lc-ios  
初公開日 : 2002-12-11 16:00  
バージョン 1.0 : Final  
回避策 : [Yes](#)  
Cisco バグ ID :

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Catalyst 6500 か Cisco 7600 シャーシ、および Cisco IOS® ソフトウェア バージョン 12.1(8)E を実行することにインストールされる Optical Service Module ( OSM ) ライン カードはおよびより高くローカルネットワークからのとりわけ組み立てられるか、または破損パケットを受信した上で a に Denial of Service ( DoS/DDoS ) 脆弱です。

Cisco はこの問題に修正済みソフトウェアを提供しました。脆弱性は Cisco バグ ID CSCdy29717 を割り当てられました。

完全なアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20021211-osm-lc-ios> で利用できます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

以下の製品は Cisco IOS ソフトウェア バージョン 12.1(8)E によって 12.1(13.4)E と共にインストールされ、動作する OSM ライン カードがあるときだけ影響を受けます:

- Sup2/MSFC2 モジュールが付いている Catalyst 6500
- Cisco 7600

### 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco Catalyst/ハードウェア および ソフトウェア組み合わせの他のリリースはこの脆弱性から影響を受けません。その他のCisco製品はこの脆弱性から影響を受けません。

## 改訂履歴

リビジョン 1.0	2002-December-11	初回公開リリース
--------------	------------------	----------

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。